

光星、久慈、青森山田ベスト8

高校野球
春季東北大会

高校野球
春季東北大会

第72回春季東北地区高校野球大会は10日、山形県のヤマリオスタジアム山形と米沢市営球

場で開幕し、1回戦6試合が行われた。青森第2代表の八学光星は、盛岡大付（岩手①）を2ー0で下して初戦突破。岩手第2代表の久慈は延長十一回タイブレーク

一の末、山形中央（山形②）に6-5でサヨナラ勝ちを収めた。青森第1代表の青森山田は、山形城北（山形③）に4-3で勝利。青森第3代表の青森北は、聖和学園（宮城②）に2-3で惜敗した。

第2日の11日は、同じ2球場で準々決勝4試合を実施。八光学星は学法石川（福島②）と、久慈は聖光学院（福島①）と、青森山田は仙台育英（宮城①）と、それぞれ4強入りを懸けて対戦する。

(小嶋嘉文、大西桂介)

1 回戦

山形中央000200000
久慈000010010

12	5
13x	6

(延長11回タイブレーク)

(山) 小坂一佐藤優

(久) 宇部獎一和野

▷三墨打 小坂(山) 宇部奨(久)▷二墨打 小口(山) 中村、坂本、野竹(久)

打 小口 (山) 中村、坂本、野竹 (久)

▷ 試合時間 = 2 時間 29 分

(球審＝梅田、塁審＝長谷川、山崎、三浦)

【評】久慈は2点を追う延長タイブレーク一回無死、二塁、野竹の左越え適時二塁打で1点差とし、続く宇部翼のゴロが野選を誘い、ピンチランナーの三谷浩が生還して同点に追いついた。なおも1死満塁とし、宇部智の右前適時打でサヨナラ勝ちした。投げては宇部翼が粘り、11回を投げ切った。

八学光星	0	2	0	0	0	0	0		2
盛岡大付	0	0	0	0	0	0	0		0

(八) 北口、及川一米澤

(盛) 若林、雨田一國島、萩原

▷二舉打 押田心2 (八)

▶ 試合時間 = 2 時間 19 分

(球審＝田村、塁審＝遲澤、遠藤、村上)

【評】八学光星は二回2死二、三塁、光田が左中間にタイムリーを放って2点を先制した。先発の北口は初回到満塁の危機を招いたが、その後は五回まで三塁を踏ませない投球を披露。継投した及川との完封リレーでリードを守り切った。



【八学光星一盛岡大付】2回八学光星2死二、三塁、
光田昌太郎が左中間に適時打を放ち、2点を先制する
三米沢市営球場

「あきらめない粘り強さ出てきた」

光星 盛岡大付破る

強弩同士の対戦は好機を確実にものにした八学光星に軍配が上がった。仲井宗基監督は「勝利をあきらめない粘り強さがチームに出てきた」と目尻を下げた。

青森県大会では先制される試合が多かったが、この日は打線

が早々に目を覚ました。二回、死の場面で、押田小虎が四球を選択。北口晃大の安打で二、三塁に好機を広げると、光田昌太郎の左中間への適時打で、鮮やかに2点をもぎ取った。

先発の北口は右肘の炎症で合流が遅れ、昨秋の県大会以来の

ハイライト

光田は「ミスやエラーも少なくなっているし、試合の度にチームが強くなっている」と胸を張る。

北口は「久しぶりのマウンドだったが、試合勘を取り戻すことができた。チームの勝利にこれからも貢献していきたい」と力強く語った。

（小嶋嘉文）

	【学光星】	打安点振球
⑧	光田	51210
⑥	押田	52000
⑨	中田	41000
⑦	久中	30012
②	米山	11012
③	田中	35101
⑤	田中	31000
④	押田	22001
①	松及	21000
H	小口	10010
I	本川	10000
犧	盗失	10000
2	2	1
2	1	0
1	0	1
3	4	8
2	5	6